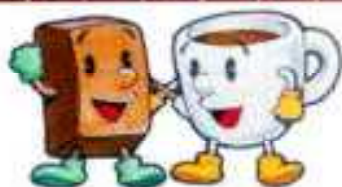


消費者の部屋通信

(平成26年3月号)

目次	☆ 特別展示の御紹介	1
	☆ 学校関係の訪問状況	2
	☆ 2月の消費者相談状況(速報)	3
	☆ 相談事例(2月分)	5
	☆ 地方の「消費者の部屋」だより	6



<特別展示>

おいしいだけじゃないよ

チョコレート・ココア

(2月3日～2月7日開催)



<特別展示>

try! フラワーバレンタイン。

(2月10日～2月14日開催)



<特別展示>

知っていますか! 身近にある食品新素材

(2月17日～2月21日開催)

- ◆ 「消費者の部屋」では、消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供などを行っています。また、農林水産省の本省北別館 1 階で行われる特別展示には、これまで延べ200万人を超える方々に御来場いただいております。

これからもわかりやすい情報の提供・相談に努めて参りますので、どうぞお気軽に御利用ください。

☆ 特別展示の御紹介

● 2月の開催状況

日 程	テーマ	入場者数
2月3日～2月7日	おいしいだけじゃないよチョコレート・ココア	1,775人
2月10日～2月14日	try! フラワーバレンタイン。	892人
2月17日～2月21日	知っていますか！ 身近にある食品新素材	1,086人

● 今後の特別展示（平成26年3月の開催予定）

日 程	テーマ
3月3日～3月7日	使って広めよう Goho-wood
3月10日～3月14日	東日本大震災から3年～再生への新たな歩み～
3月24日～3月28日	大学は美味しい!! in農林水産省

※特別展示の開催日以外の期間は、常設展示を開催することがあります。

◆ テーマ『おいしいだけじゃないよチョコレート・ココア』 ◆

チョコレートやココアに含まれている成分は、動脈硬化を防ぐなど体に良いとされており、チョコレートやココアの持つ効能・栄養についてパネルなどを用いて分かりやすく説明するとともに、原材料や製品の展示を行いました。



チョコレートやココアの歴史をパネルなどを用いて分かりやすく紹介しました。



チョコレートやココアの原料となるカカオ豆などの展示や、製品となるまでの製造工程のパネル展示を行いました。

◆ テーマ『try! フラワーバレンタイン。』 ◆

花き業界が一丸となって取り組んでいる「フラワーバレンタイン」の活動や取組をパネル、ポスターなどで紹介するとともに、「フラワーアレンジメント」や「テーマフラワー」の展示を行いました。



「フラワーバレンタイン」に、男性から女性に贈る花束やフラワーアレンジメントを多数展示しました。



バラ、ガーベラ、スイートピーなどの色鮮やかな切り花を数多く展示し、来場された方々に花の魅力をお伝えしました。

◆ テーマ『知っていますか！ 身近にある食品新素材』 ◆

オリゴ糖、食物繊維、ポリフェノール、希少糖などの「食品新素材」は、お菓子、清涼飲料、健康食品等に使われ、我々の食生活を支えています。「食品新素材」の種類やその働き、また、「食品新素材」が多く含まれている製品を紹介しました。



希少糖を使用したシロップや食物繊維である難消化性デキストリンなどの製品を展示するとともに、その働きを説明しました。



米糠や米胚芽から「食品新素材」が多く含まれるように製造した食用油を用いて揚げた一口まんじゅうの試食会を実施しました。

☆ 学校関係の訪問状況

「消費者の部屋」では、小・中・高校生などに対して、農林水産行政などをわかりやすく説明しています。2月の来訪者は以下のとおりです。



■ 平成26年2月の訪問	来訪者数
東京都荒川区立第三瑞光小学校 6年	6名
東京学芸大学附属小金井小学校 6年	22名
合 計 2件	28名

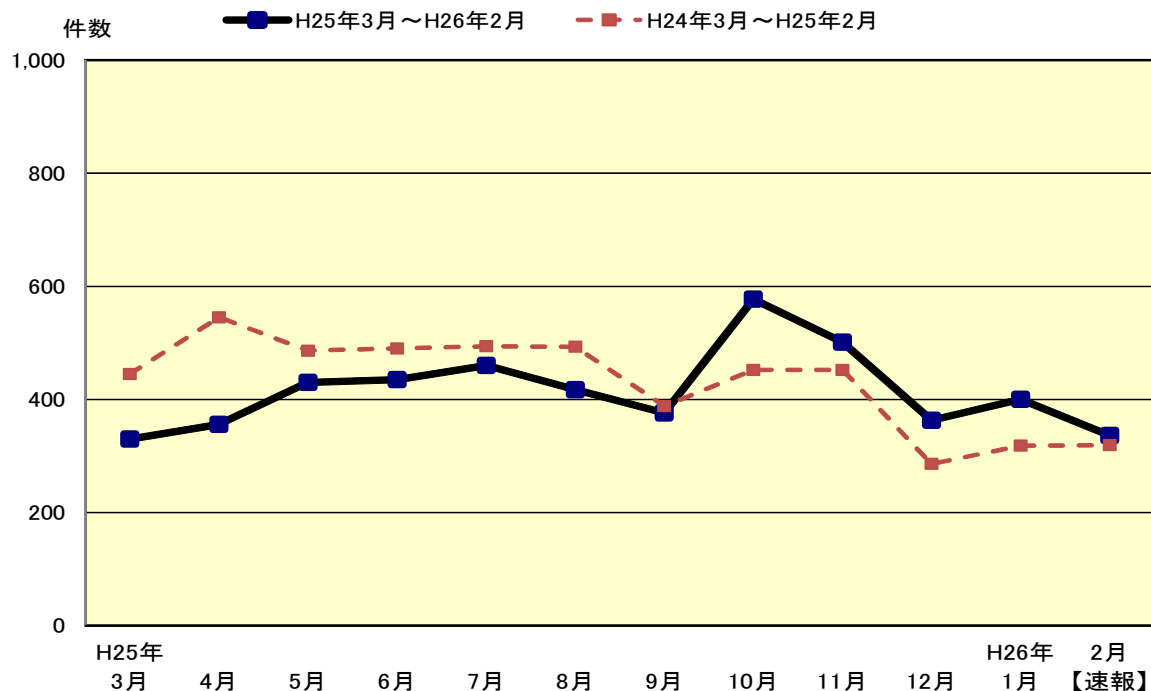
～ 修学旅行や社会科見学などの訪問をお待ちしています ～

☆ 2月の消費者相談状況（速報） ～電話やメールで御相談を受け付けています～



2月の相談件数は、336件（前月400件）でした。このうち、問合せは275件、要望・意見は52件、その他は9件となりました。

図1 月別相談件数の推移

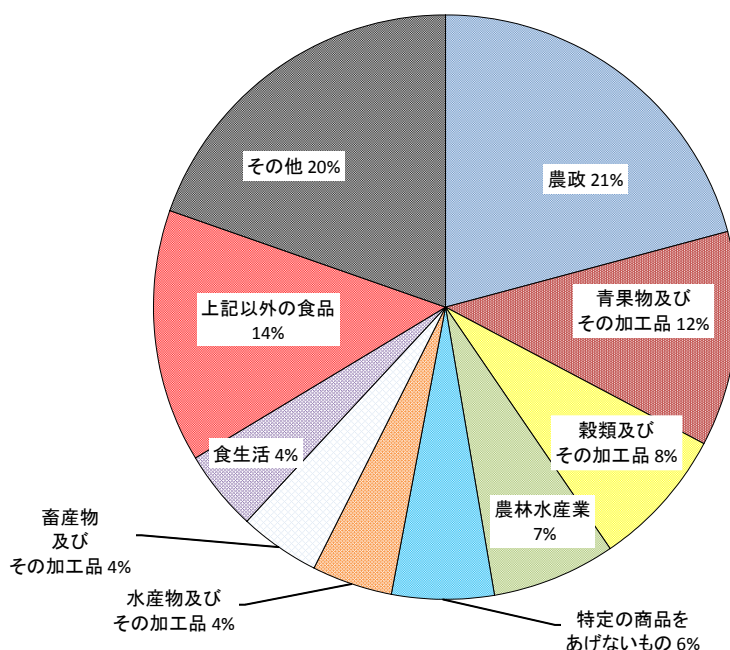


〔品目別相談件数〕

表1 品目別相談件数

	件数(前月件数)
農政	70 (56)
青果物及び その加工品	40 (62)
穀類及び その加工品	26 (40)
農林水産業	23 (20)
特定の商品を あげないもの	19 (6)
水産物及び その加工品	15 (35)
畜産物及び その加工品	15 (32)
食生活	15 (15)
上記以外の食品	47 (73)
その他	66 (61)
合計	336(400)

図2 品目別相談比率

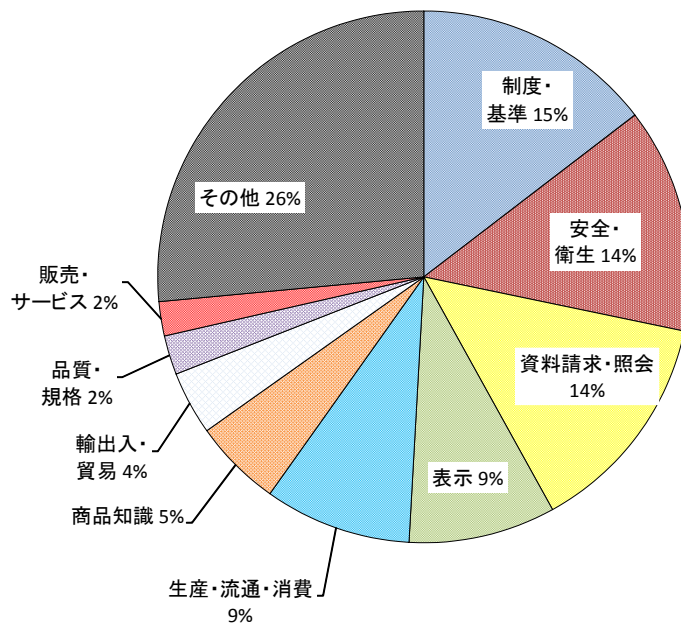


〔内容別相談件数〕

表 2 内容別相談件数

	件数(前月件数)
制度・基準	49 (41)
安全・衛生	46 (86)
資料請求・照会	46 (40)
表示	30 (60)
生産・流通・消費	30 (20)
商品知識	18 (20)
輸出入・貿易	13 (4)
品質・規格	8 (25)
販売・サービス	7 (8)
その他	89 (96)
合計	336 (400)

図 3 内容別相談比率

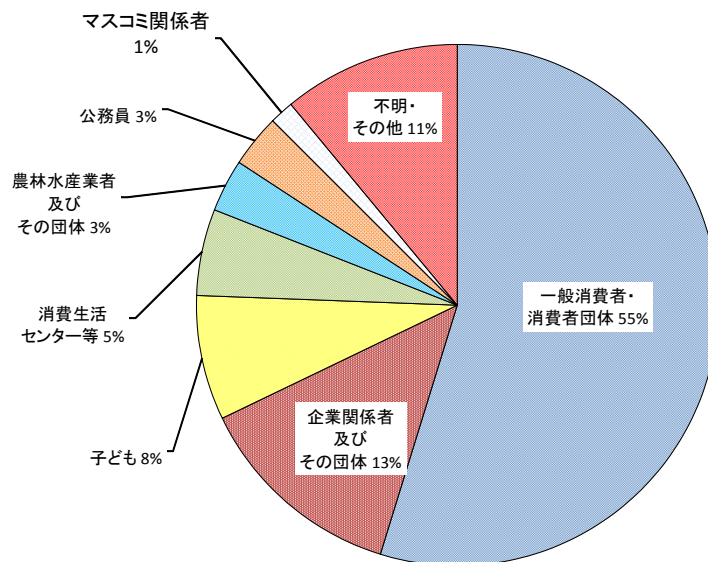


〔相談者別件数〕

表 3 相談者別相談件数

	件数(前月件数)
一般消費者・消費者団体	184 (218)
企業関係者及びその団体	44 (55)
子ども	26 (7)
消費生活センター等	18 (29)
農林水産業者及びその団体	11 (25)
公務員	11 (19)
マスコミ関係者	5 (5)
不明・その他	37 (42)
合計	336(400)

図 4 相談者別相談比率



◆ 主な要望・意見

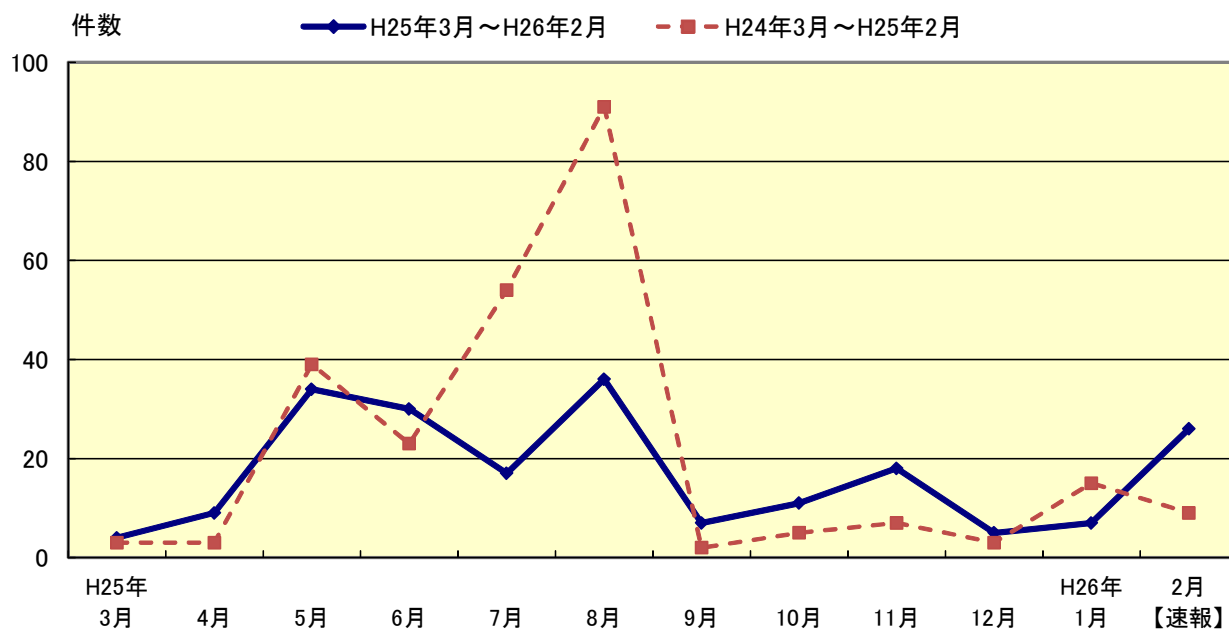
- * 多くの若者が就農可能となるよう農家の収入をもっと上げる取組を進めてほしい。
- * 国内における家畜の飼料は、輸入物ではなく、なるべく国産のものを使用すべきだ。
- * 今後の農政として、専業農家への重点的支援、小麦・大豆の自給率向上、輸出振興等をさらに進めてほしい。

【子ども相談】

子ども相談専用電話を設け、農林水産業や食品に関する子どもからの相談や質問にお答えしています。

2月の子ども相談件数は、前月より19件増加し、26件となりました。

図5 子ども相談件数の推移



◆ 主な相談内容

- * もち米の種類について、どのようなものがあるか知りたい。
- * 農業で働く人を増やすために、どんな対策をしていますか。
- * お米を食べる人をどのように増やそうとしているのですか。

☆ 相談事例（2月分）

Q 1 畑で栽培される稲である陸稲の国内主要産地及びその収穫量について教えてください。また、どのような品種が用いられていますか。

A：陸稲は、主に茨城県と栃木県で栽培されており、二県により国内の収穫の大部分を占めています。平成25年産陸稲の収穫データを見ますと、全国の収穫量4,290 tのうち、茨城県2,980 t（69.4%）、栃木県1,110 t（25.9%）であり、二県の合計では4,090 t（95.3%）となっています。

また、陸稲の品種は、糯（もち）品種の数が多いのが特色で、具体的には、「トヨハタモチ」、「ゆめのはたもち」などが奨励品種となっています。

（参考資料：「作物統計（普通作物・飼料作物・工芸農作物）－陸稲」（農林水産省ホームページ公表資料）、「新編 食用作物」（養賢堂）、「陸稲奨励品種特性表」（茨城県庁ホームページ公表資料）、「奨励品種特性表－陸稲もち」（栃木県庁ホームページ公表資料））

Q2 マコンブ（真昆布）とリシリコンブ（利尻昆布）との違いについて教えてください。

A：マコンブは、北海道の函館沿岸、青森県の下北半島沿岸、岩手県宮古沿岸などに分布するコンブ科コンブ属に属する海藻であり、一方、リシリコンブは、北海道の利尻島・礼文島・稚内沿岸に分布するマコンブの近縁種であり、生育・採取地域が異なります。

両者の形態的特徴はよく似ていますが、一般的には、マコンブの方がリシリコンブより全体的に葉体がやや大きく、葉幅もリシリコンブが10～20cmであるのに対し、マコンブは20～30cmのものも採取されています。また、マコンブの葉の基部は円形ですが、リシリコンブの方は広いくさび状で、形状のわずかの違いもあります。マコンブ、リシリコンブともに出汁用の高級品として利用されています。

(参考資料：「新版 食材図典 生鮮食材篇」(小学館)、「こんぶの種類について」(一般社団法人北海道水産物検査協会ホームページ公表資料)、「昆布の種類 (昆布いろいろ)」(一般社団法人日本昆布協会ホームページ公表資料))

☆ 地方の「消費者の部屋」だより

関東農政局 静岡地域センター 消費者コーナー

静岡地域センターは、JR静岡駅から北東へ約1.8km、徳川家康が大御所時代の居城とした駿府城公園の東にあり、「消費者コーナー」は1階玄関ホールに設置しています。



消費者コーナー（常設展示）

【消費者コーナー】

常設展示では、食育や農林水産行政等に関するパネル・ポスター展示やパンフレットの配置、食品サンプルを使った食事バランスガイドや食品表示の事例紹介、米粉製品の展示などを行っています。

←



消費者コーナー（特別展示）

また、特別展示では、「県内各地の食育・食農の取組」、「東日本大震災から2年半～被災地の復旧・復興の取組」、「食と農林漁業の食育優良活動表彰 県内受賞者の紹介」等についてのパネル展示を行いました。

→

【移動消費者の部屋】

例年ブースを出展している健康・食をキーワードとした県内最大級のイベント「しずおか元気応援フェア」において、本年度は食育や食料自給率向上などのパネル展示やパンフレット配布、「食料自給率当てクイズ」を行い、幅広い世代の方々に楽しみながら「食」についての理解を深めていただきました。

また、本年度は、県内の関東地域食育推進ネットワークの「定例会」の中で、会員の取組等をパネルやチラシ等で紹介する「移動消費者の部屋」を実施しました。参加した会員からは、この場で紹介された農林水産省の食育等のパンフレットを今後の食育活動に活用したいとの声をいただきました。



移動消費者の部屋（「しずおか元気応援フェア」）

関東農政局 静岡地域センター 消費・安全グループ

〒420-8618 静岡市葵区東草深町7-18 TEL:054-246-6959 FAX:054-246-5001

地方の「消費者の部屋」だより

近畿農政局 大阪地域センター「消費者の部屋」

大阪地域センターは、大阪城の西に位置しており、大阪市営地下鉄谷町線の天満橋駅3番出口から徒歩約3分の大阪合同庁舎1号館内にあります。

【消費者の部屋】

日本型食生活推進のパネルや、食料自給率を表示した献立サンプル事例、農山村の文化を伝えるわら細工や木工品などを展示しています。また、各種パンフレットを常置し、来庁していただいた皆様への情報発信を行っています。

【移動消費者の部屋】

当センターでは、移動消費者の部屋の開設にも力を入れています。

4,000人規模の来場がある「おおさか食育フェスタ」(※)において移動消費者の部屋を毎年開設しているほか、NHK大阪放送局やショッピングセンターで行われる食育イベントなどでも随時開設しています。



消費者の部屋(庁舎6階)

今年度の「おおさか食育フェスタ」では、食事バランスガイドに関するクイズや食育に関するアンケートを実施したほか、草食動物と肉食動物の「ウンチ(ニスでコーティングした本物)」の違いにより食べ物の消化を理解してもらう展示を行い、親子がともに楽しみながら食育に関心を持ってもらえるように工夫を凝らしました。

これからも、消費者へのタイムリーな情報発信や相談窓口における丁寧な対応に取り組んでまいります。



バランスのよい食生活に関する展示



動物の「ウンチ」が入った箱を開けてびっくりした様子

移動消費者の部屋(「おおさか食育フェスタ」)

(※) 平成18年6月に開催された第1回食育推進全国大会(内閣府及び大阪府が主催)をきっかけにその翌年度から大阪府及び同府食育推進ネットワーク会議が開催。今年度で7回目となるイベント。

近畿農政局 大阪地域センター 消費・安全グループ

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目5-44 大阪合同庁舎1号館6階

TEL:06-6943-9691 FAX:06-6941-9011

農林水産省「消費者の部屋」へお越しの際は、北別館入口から入館していただくと、通行証なしで入室できます。皆様のお越しをお待ちしています。



東京メトロ「霞ヶ関」駅
下車。A5、B3a出口すぐ。

平成26年3月発行

編集・発行 農林水産省 消費・安全局
消費者情報官「消費者の部屋」
担当：坂本、新宅、加藤、宮崎

相談電話 03-3591-6529

ファックス 03-5512-7651

子供相談電話 03-5512-1115

インターネット相談窓口：

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/1c41.html>